

かけがえのないあなただから

ご一読ください。

「交通事故で良かった。」なんて
交通事故だから 加害者は
人を殺しても許されるんですか

「お子さんの分まで生きて」なんて
私の命とひきかえに
あの子に助かってほしかったんです

「元気になって良かった。」なんて
笑顔をつくってはいても
心は血を流しているんです

「さびしいでしょう。」なんて
あなたのお子さんが県外の
大学へ行ってさびしいのと
同じにしないで下さい

「この世のすべては必然。」なんて
娘の命が奪われることは
どうに決まっていたというんですか

「遺された親」として、今

大角 希伊子

「遺された親」として、今

～～飲酒運転で実刑判決を受けたKさんの手記より抜粋～～

甘かった認識

私は、飲酒運転を犯し、現在絶望と失意の日々を送っております。
お酒を飲んでも自分は運転がうまいし、酔わないから、運転しても事故さえおこさなければ大丈夫・・・そんな風に考えることが恐ろしい過ちであることを、私は身をもって知りました。アルコールの影響下で運転することは、そのことを認識しているいなくにかかわらず、運動の能力、判断力など、運転する上で重要な鍵を握る各種の能力を著しく低下させ、第三者を巻き込む重大な事故を起こす可能性をもちます。
私の身に起こったことは、起こる寸前まで私の日々の暮らしからは想像がまったくできないものでした。

失ったものの大きさ

社会的地位も、経済的基盤も失い、茫然と反省することしか私にはできません。人生の全てが根元から変わってしまいました。違反を起こした日に戻れるなら、飲酒して運転することなど死んでもしない。しかし、どれほど望んでも時計の針を戻すことはできない。なんということ自分にはしてしまったのか。そんな砂を噛むような思いに苛まれながら、毎日時間が過ぎていきます。
お酒を飲んで運転し事故を起こし第三者を巻き込むことにより、一生を棒に振ってしまう人が後をたたないだけではありません。もし、幸いにしてわたしのように事故を起こさないとしても、お酒を飲んで運転をすることは重大かつ深刻な犯罪であること。その行為を罰する法律は容赦なく厳格であることを忘れてはならないと思います。
そして、それは、あなたの人生にも起こりうることだということも。

※NPO法人ASK（アルコール薬物問題全国市民協会）HPに掲載

飲酒運転はしない・させない・許さない

※7/21（金）～8/20（日）「“明るいやまがた”夏の安全県民運動」実施



『もう一度会いたい（遺族の手記）第5集』
【（社）被害者支援都民センター】に掲載